

■ □ = = = = =
□ 株式会社 京浜予防医学研究所
■ □ KMLメールニュース □ ■ ◆ ◆ VOL. 25 ◆ ◆

= = = = = □ ■
株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！
2009年 5月 18日発行
□ ■ <http://www.kml-net.co.jp/>

KMLメールニュースVOL. 25をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 ジメジメした季節 カビアレルギー
- 【2】 感染症トピックス：結核感染について
- 【3】 ウイルス検査の検査法について
- 【4】 ペセスダシステム2001準拠について
- 【5】 KMLインフォメーション 3月～4月分のお知らせ

1] ジメジメした季節 カビアレルギー

湿度と気温の高くなるこの季節には、カビが繁殖しやすくなります。「カビ」とは真菌類の仲間、屋外のみならず室内にも幅広く存在しています。カビの胞子が空中を浮遊し、それを吸入することで、様々な健康被害を引き起こします。

<< カビによるアレルギー症状 >>
カビによるアレルギーには、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、過敏性肺炎、アレルギー性気管支肺真菌症などがあります。症状は、咳や喘鳴、呼吸困難、たん、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなど、主に呼吸器症状です。

<< 原因となるカビ >>
健康被害を起こすカビには様々な種類がありますが、代表的なものをあげます。
・クラドスポリウム：空中では室内外共に最も多く検出される。
・アルテルナリア：アレルギー性鼻炎・気管支喘息のアレルゲンとしても重要。
・ペニシリウム（アオカビ）：ハウスダスト、空中（特に室内）に広く分布する。
・アスペルギルス（コウジカビ）：気管支喘息、アレルギー性気管支アスペルギルス症の原因アレルゲンでもある。

<< カビの生息場所 >>
水周りだけでなく乾燥したところ、また様々なものに発生します
・湿度の高いところ 浴室、洗面所、トイレ、台所、排水口、結露した壁 など
・乾燥したところ ハウスダスト、押入れ、靴箱、居間、和室など
・素材 木材、じゅうたん、衣類、エアコン、冷蔵庫、靴、皮革、紙・書籍など

<< カビの発生時期 >>
カビ全体では、4月から11月に多く発生し、冬は少なくなります。5-7月の梅雨期と9-10月の秋期にピークとなるカビが多いですが、夏期にピークとなるカビもいます。

<< カビの対策法 >>
現代の住環境は、気密性が高く（換気が悪くなる）、アルミサッシの使用（結露の原因）、紙や木材の使用が少なく（湿度の調節がしにくい）、じゅうたんの使用（ホコリが増えカビが繁殖しやすくなる）など、カビの繁殖に適した条件をもっています。できるだけカビの住みにくい環境をつくり、繁殖を防ぐことが必要です。カビ予防対策としては、以下の方法が有効です。
・カビの繁殖しにくい環境をつくる。
1. 換気をよくし、室内の気流がよどまないようにする（カビ胞子が壁や床に沈着することを防ぐ）
2. 湿度を低くする。（カビの繁殖を防ぐ）

3. ホコリをためない。(カビの繁殖を防ぐ)
- ・市販のカビ取り剤などにより殺菌除去する。
 - ・壁の内部にまでカビが入り込んでいる場合は、まず可溶性(水に溶けるタイプ)の殺菌剤で十分殺菌した後、不溶性(水に溶けないタイプ)の薬剤を含むスプレー、塗料などを使用すると効果があります。

2 感染症トピックス：結核感染について

【1】結核で問い合わせ相次ぐ 大阪、助産師感染の病院

助産師の女性が肺結核に感染していた大阪府高槻市の高槻病院に4日、感染を心配する人たちからの問い合わせが相次いだ。同病院によると、この日だけで電話は200本以上あり、直接病院を訪れた人もいた。「該当する期間に病院に行っていたが大丈夫か」「(病院で生まれた子供だけでなく)母親は検査しなくていいのか」などの内容。

病院は電話対応する職員を急きょ3人から6人に増やし、直接病院に来た人には診察時間を延長して医師が説明した。病院は、助産師と接触した可能性がある、昨年12月から今年3月までに誕生した新生児・乳児に検査を受けるよう呼び掛けている。対象は361人だったが、うち9人は助産師と接触していないことが分かった。

助産師の結核は感染力が弱く、大人に感染する可能性は低いという。

2009年4月6日 共同通信社

【2】助産師が結核感染 新生児ら361人を検査へ

大阪府高槻市の高槻病院(家永徹也(いえなが・てつや)院長)は3日、助産師の20代の女性が肺結核に感染したと発表した。発症はしていない。同じ産科病棟の職員79人が検診を受けたが、感染の報告はないという。高槻病院によると、助産師は3月23日に体調不良を訴え、25日に肺結核と診断された。高槻病院は、この助産師と接触した可能性がある、昨年12月から今年3月までに誕生した新生児や乳児計361人を順次検査する。

助産師が肺結核発症：14都府県の乳幼児352人接触 大阪の病院

大阪府高槻市の「愛仁会高槻病院」と同市保健所は3日、同病院の産科病棟に勤務する20代の女性助産師が肺結核を発症したと発表した。

昨年12月23日ー今年3月23日に同病棟で生まれた14都府県在住の新生児・乳幼児計352人がこの助産師と接触した可能性がある。ツベルクリン反応とレントゲン検査を実施し、感染の有無を調べている。職員は、79人のうち8人がツベルクリン反応で陽性を示したが、感染の可能性は低いという。

同病院によると、助産師は昨年9月、系列の「総合健康センター」で健康診断を受け、肺に陰影が見つかったが、問題なしと判断された。その後、一時は高熱とせきが出たが、薬で回復し通常通り勤務。3月23日に再び発熱し、肺結核検査で発症が判明した。市保健所によると、菌量が少なく感染力は弱い。

感染した可能性のある新生児・乳幼児は、都府県別で、大阪296人・兵庫15人・京都14人・東京、神奈川各4人・奈良、岡山、愛知各3人・和歌山、千葉、埼玉、福岡各2人・福井、香川各1人。3日現在、検査を終えた11人は感染していないという。

2009年4月6日 共同通信社

3 ウイルス検査の検査法について

抗体検査には種々な方法がありますが、各検査法の特徴と目的別検査法をご紹介します。

【抗体検査の特徴】

- CF法
比較的早期に抗体が陰性化するため、既往感染の有無やワクチン接種の判定には通常用いられません。他法に比べて遅れて上昇し、感染後短期間のみ検出されるので、ペア血清で現在の感染の診断に用いられます。非特異的反応が多いという欠点があります。
- HI法
CF法より早く上昇し、長期間持続します。急性期血清でもすでに抗体価が上昇している場合には、ペア血清間に抗体価の上昇を確認できないこともあります。
- NT法
感度・特異度ともに高いが、検査日数が長いのが欠点です。ウイルス型別抗体価の測定が可能です。
- EIA法
感度・特異度ともに高く、グロブリンクラス別抗体価の測定が可能です。IgMは初期感染の診断に有用です。IgGは既往抗体の有無を知るのに有用です。
- PA法
感度・特異度ともに高く、非特異的反応が少ないです。現在、麻疹ワクチン接種のための抗体検査に用いられています。
- IAHA法
感度は良いが、年月の経過とともに抗体を検出しにくくなります。現在、水痘ワクチン接種のための抗体検査に用いられています。

【抗体検査の選択】

ウイルス名	現在の感染	免疫の有無
麻疹	HI、EIA-IgM	EIA-IgG、NT、HI、PA
風疹	HI、EIA-IgM	EIA-IgG、HI
水痘帯状ヘルペス	CF、EIA-IgM	EIA-IgG、IAHA
ムンプス	CF、HI	EIA-IgM、EIA-IgG、NT

4 ベセスダシステム2001準拠について

子宮頸部細胞診報告様式「ベセスダシステム2001準拠」について日本産婦人科医会及び行政より2009年4月から日母分類からベセスダ準拠報告様式への移行を2年以内に完了するよう対応を求められています。

ベセスダシステム2001準拠の子宮頸部細胞診報告様式では

1. 標本の種類
2. 標本の適否
3. 細胞診判定
4. 細胞所見

上記の記入等を報告内容に記載します。

1の標本の種類では子宮頸部擦過材料と液状検体を用いる方法LBC (Liquid based cytology) と呼ばれLBC専用採取容器が必要となります。

2の標本適否は作製された細胞診標本が病変部検査に適しているかどうかで適性・不適性に分けられます。

3の細胞診判定では陰性・扁平上皮系異型・腺系異型に分けられます。

扁平上皮系異型と腺系異型の場合

- 1: HPV検査
- 2: 6ヶ月以内の細胞診再検
- 3: コルポスコピー
- 4: 生検等の検査

となります。

HPV検査や6ヶ月後の細胞診再検となる判定はASC-UCの場合です。コルポスコピー、生検となる判定はASC-H・LSIL・HSIL・SCC及びAGC等です。

子宮頸癌はHPV感染によって生じることがわかっており、20歳代・30歳代が増加していると言われています。子宮頸癌の予防策はHPV感染と子宮癌検診による異形成の検出が基本となり、子宮頸管細胞が異形成の段階にあるかどうか細胞診により検査します。

5 KML インフォメーション 3月～4月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KML インフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2009年3月23日 検査受託中止のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-0323.pdf>

2009年3月28日 子宮頸部細胞診報告様式に関するお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-0328.pdf>

2009年4月 2日 基準値変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-0402%20.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

= = = = = □ ■